

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第3回 農産物等研究専門部会
議事要旨

- 1 開催日時：平成28年2月15日（月）午後2時00分～午後3時30分
- 2 開催場所：明治大学黒川農場 1階 会議室
- 3 出席者：[座長]佐倉教授
[専門部会委員] 安藤委員、梅澤(進)委員、梅澤(正廣)委員、志村委員、
木下委員、白石委員、小川委員
(欠席) 伊藤委員、立川委員、市川委員、下藺委員、米川委員
[事務局] 川崎市経済労働局農業振興センター農地課 古山係長
コンサルタント（株）URリンケージ 遠藤副課長

4 議 事：

《主な意見》

(1) 今年度の取り組みに関する中間報告

①黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）への地元農業者の講師派遣について

- ・黒川農場アグリサイエンスアカデミーの実施状況について補足したい。受講生には大変な好評であった。講習会後に懇親会を行ったが参加者と講師の方と様々な意見交換など交流が見られた。また、参加者の1/3くらいは地元周辺の方であったので、そういう意味では地元農家と地域の交流ができてよかった。

②黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）について

- ・今回は初の試みであり、収穫祭当日は車での来場を制限していたこともあり、前年度と比較はできない。今後は、明治大学黒川農場の出品物との調整などもあるので、回を重ねていく必要がある。
- ・今年度は、明治大学黒川農場での収穫体験が充実しており、大根などはそちらで確保している人も多かった。早めに情報を聞いて対応していきたい。（事務局）
- ・果物の売れ行きはよかった。
- ・気候により出荷量も変化すると思われ、ぎりぎりまで何がだせそうかはわからない。車での来場者の有無でも出荷する農産物が変わってくると思う。
- ・収穫祭来場者の車利用については、安全確保面も含め、明治大学だけでなく市や地元も含め、今後一緒に検討していきたい。（事務局）

③農産加工品について

- ・農産加工品について、黒川で女性農業者にまとめていくにあたって、範囲を広げるという考え方はあるか。（事務局）
- ・農協の女性部に声をかけるのは可能である。
- ・加工品の勉強会のあとに、実施に取り組みことを検討会などがあるのがよいといわれているし、次年度黒川農場に新しく加工品の先生が来られるので、次年度改めて実施に向けて検討していきたい。

④明治大学と地元農業者との意見交換会について

- ・早めについていただければ、地元で調整の上、地元以案内を出していきたい。せっかくであるので、成果があるものにしていきたい。
- ・次年度はじめに、明治大学と見学時期を調整の上、次回の専門部会で具体策を提案させていただき調整させていただきたい。(事務局)

⑤その他

- ・収穫祭の時期は農協まつりの時期に近く、農産物が減るのではないかと懸念があった。また農協祭りでは農産物の品評会を実施している。開催の意義や必要性等は整理する必要があるが、黒川地域でも実施することで生産意欲を喚起する上では一つの手法と思われる。
- ・地元でも農協祭りを優先していると聞いている。その上で、今回の収穫祭ではかなりの農産物が集まった状況である。(事務局)
- ・販路が拡大されれば、生産の拡大につながる。
- ・それぞれの直売や農協祭りなど出荷時期に向けてつくっているもので、農産物がないとか足りないということはないと思われる。
- ・秋は端境期にあたるので、早めに周知してくれば対応は可能と思われる。今回は、収穫祭での地元農家による農産物の販売は初めてだったため、どの程度売れるかもわからなかった。
- ・今年度の収穫祭は、午後まで農産物があり、遅く来た人も購入することができてよかったと思われる。販売の際には、列に並ばないと野菜が買えないと思っていた人がいて、誘導等にも課題があった。放送等の案内の工夫や案内図、チラシを配布するなど販売促進に対応していきたい。

(2) 実施計画について

- ・次年度の取り組み予定について、実施計画の内容について意見はあるか。(事務局)
＜特になし＞

(3) 次年度の専門部会について

- ・次年度の専門部会は全2回を予定している。その他実施したい事項等あれば、次年度のはじめに意見をいただきたい。視察に行きたいとか試験を実施してほしいという意見があれば言うていただければと思う。(事務局)

以上